

庄内町立図書館だより

よめっちゃ

(本をたくさん

「読んでね」との願いを込めて)

2017.6.28(No.24)



読書感想文

こども読書室を
カウンターを
見てね!

課題図書そろえました!



図書館カレンダー ★開館時間

⇒休館日 平日 午前 9:00～午後 7:00

⇒10冊貸出 土日 午前 9:00～午後 5:00

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

おはなしらんど ★ たのしいおはなし会

☆日時：7/19(水)・10時～

☆会場：図書館ホール



つちだよしはる絵本原画展

みんなの図書館 part 3



開催期間

2017

7/22(土)～8/27(日)

9:00～19:00 ※土日は17:00まで 月曜・祝日休館

※入口は観覧無料

※入口は観覧無料

展示作品

新作童話「りすのきょうだいとふしぎなたね」金の星社

新作絵しばい「えほんまき もぐもぐ」東心社

新作絵しばい「ももちゃんちきたぞうさん」東心社

特別展示「大好きな加茂小」「やっちゃんの贈り物」※約80点以上

くわしくは
裏面を
ご覧ください

庄内町立図書館

TEL.0234-43-3039 庄内町目黒字三人身場99-1 FAX.0234-43-4762
主催：庄内町教育委員会 協賛：おはなしボランティアネットワーク「おはなしらんどスタッフ」



内藤秀因水彩画記念館が

つちだよしはる ワールドに

お皿に
絵を描こう

グラスに
絵を描こう

絵本を
つくろう

いろいろなワークショップ

図書館も
準備中...

お申し込みは

7/8(土) から!



お問い合わせ 図書館・内藤秀因水彩画記念館

43-3039

分館 56-3308

図書館 HP→<http://www.town.shonai.lg.jp/library/>

き

ら

き

ら

の

本

『明仁天皇の言葉』

皇室ジャーナリスト 近重幸哉 / 著(祥伝社)

天皇陛下が昨年夏に国民に向けて表明された生前退位の意向が広く国民に理解され、特例法により平成30年をめどに退位が現実化することとなりました。この本は、長年にわたり皇室を取材し続けてきたジャーナリストの近重氏が、「象徴」「祈り」「平和」「世界」「孤独と幸福」の章ごとに明仁天皇の「お言葉」を抽出し、陛下の「お気持ち」を推し量るかたちで構成しています。

戦後に象徴天皇として「何よりもまず国民の安寧と幸せを祈ることを大切に考えて来ました。」というご発言の通り、



ひたすら国民の幸せを祈り、国民に寄り添い続けた天皇陛下の生き方から滲み出た珠玉の言葉に、読む人は心を揺さぶられ、自らの心も洗われるような感覚を感じることでしょ。



『ゆめみる ハッピードリーマー』

ピーター・レイノルズ/ぶん・え(主婦の友社)

全頁“きらきら”です。輝いています。夢と希望にあふれています。55万部突破のベストセラー『ちいさなあなたへ』の作者最新刊!

きらきら、ハッピーな見返しには…「これは、ぼくの物語です」との作家からのメッセージ。明るく、伸びやかなタッチで描かれているのは、夢見がちな男の子が、日常感じる、いろいろな気持ち。この子はADHDである設定です。障害に悩む親子にももちろんおすすめですが、子育てに毎日奮闘する、すべての方たちに寄り添う1冊です。



泣き止まない子、反抗期真っ盛りの子、みんなより、何でも遅い子等々…を前に、途方にくれているお母さん、お父さん。ぜひこの絵本を手にとって、お子さんの持つ「きらきら」を感じてくださいね。



『春のかんむり』 門林真由美/作、岡本万里子/絵(BL出版)

この絵本は、春のぼかぼか陽気のお花畑にいるような気持ちになれる絵本です! キツネの男の子が、大好きな子にプロポーズするためにお花のかんむりをつくる……という物語。まっすぐな恋をする若いキツネたちや、そこにさりげなく手を差し伸べる心優しい人たちが、あんまりキラキラして胸が苦しくなるほどです。しかし、色彩も輪郭も淡く描かれているので、強すぎるキラキラたちも背景のお花畑に包まれて、「きれいなあ」「かわいいなあ」と、眺めることができます。その中にある、黒い教科書体の文字も美しい……

すでに絶版になっており、お店では手に入らない図書館ならではの1冊です! ぜひ手にとって美しいキラキラの世界をご覧ください。



『か「く」「し」「ご」と「』

住野よる/著(新潮社)

変わったタイトル(「までがタイトルです)に惹かれて、初めて手にした住野よるさんの作品。5人のキャラクターが窓際に立つ水色の表紙が爽やかです。そして表紙には銀色の“キラキラ”光る記号や数字が散りばめられているのですが、これ、物語にとっても重要なものなのです。

物語の主人公は高校のクラスメイト5人。それぞれ自分だけの「かくしごと」を持っていて…。特別だけどありふれた日常を描いた青春小説です。私は隠しきれないほどのコンプレックスや変なプライドやらを抱えていた遥か遠い昔の自分の高校時代を思い出し、こんな友達が欲しかったなと思いました。本自体にも「かくしごと」があって、裏表紙のQRコードを読み込んでクイズに答えると、サイドストーリーが読めます。



『きらめく星座 一昭和オデオン堂物語一』

井上ひさし / 著(集英社)

舞台は1940年~41年の浅草、戦時下にレコード店を営む一家とその下宿人たちを、ユーモラスに描いた戯曲です。朗らかで懸命な登場人物たちの行く末は作品の枠内では語られませんが、読者が想像できるように描かれています。メッセージ性が高く、胸に突き刺さる数々の台詞に加え、レコード店ということで随所に登場する楽曲が印象的です。とくに作中、ピアノで奏でられる「星めぐりの歌」(宮沢賢治 作詞・作曲)を聴く場面は、光と音と登場人物の思いが重なり、静かな輝きを感じられました。

井上ひさしと、きら、キラ、吉良(!)でもう1作連想したのは、この夏29年ぶりに上演される戯曲『イヌの仇討』。忠臣蔵を吉良サイドから描いた作品です。こちらも当館で所蔵しておりますので、ご興味のある方はこの機会にお読みになってみては?



夏にむかっていく爽やかな季節! 梅雨、水がはられた田んぼ、七夕、衣替え。お日様も水辺も夜空も、わたしたちだってキラキラきらめく今月、

おすすめのキラキラ本、
いかがですか???